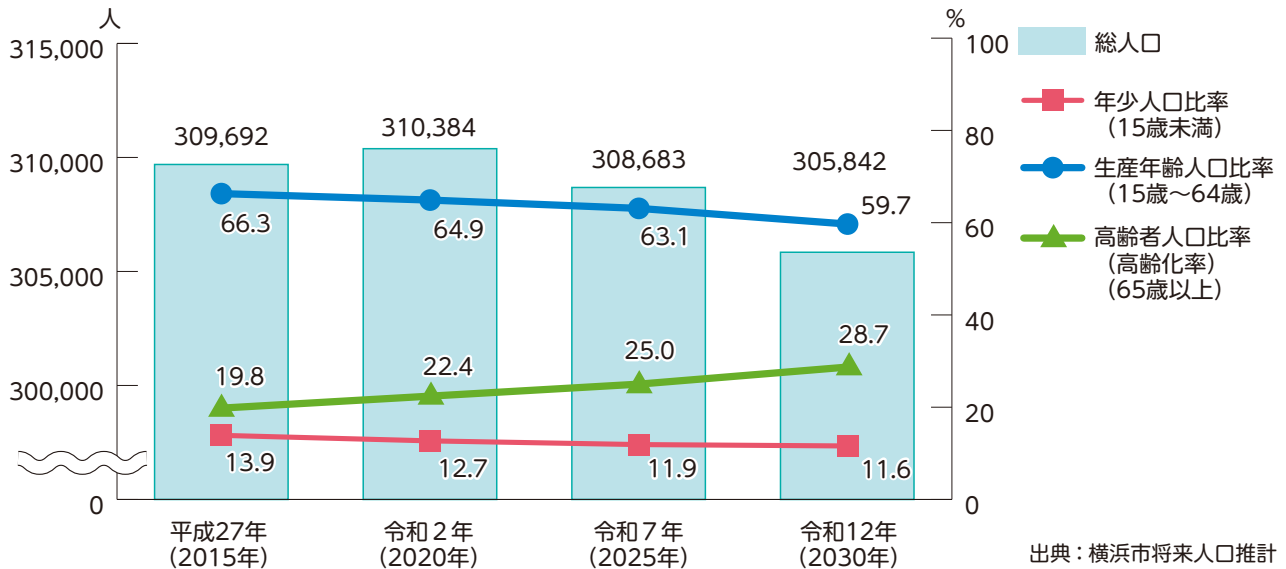


第2章 青葉区の状況について



第1節 統計データからみた青葉区の特徴

●青葉区の人口の推移・推計



※この将来人口推計は、平成27年国勢調査における人口を基準として推計していますので、実際の数値と異なる場合があります。

「横浜市将来人口推計（平成27年時点）」によると、青葉区の総人口は令和2年をピークに減少に転じるとされています。当初の予測に比べるとピークは後ろ倒しになっていますが、今後確実に減少していくとされています。また、高齢化率は令和7年には25.0%に達し、さらに超高齢社会(※)が進むと推計されています。

比較的若い区であるといわれる青葉区でも確実に高齢化は進んでおり、今後「団塊の世代」が80歳を迎える令和12年にはさらに高齢化は進むと推計されています。

※高齢化社会：高齢化率7%～、高齢社会：高齢化率14%～、超高齢社会：高齢化率21%～

●青葉区の年少人口と年少人口比率（15歳未満）【令和2年1月時点】

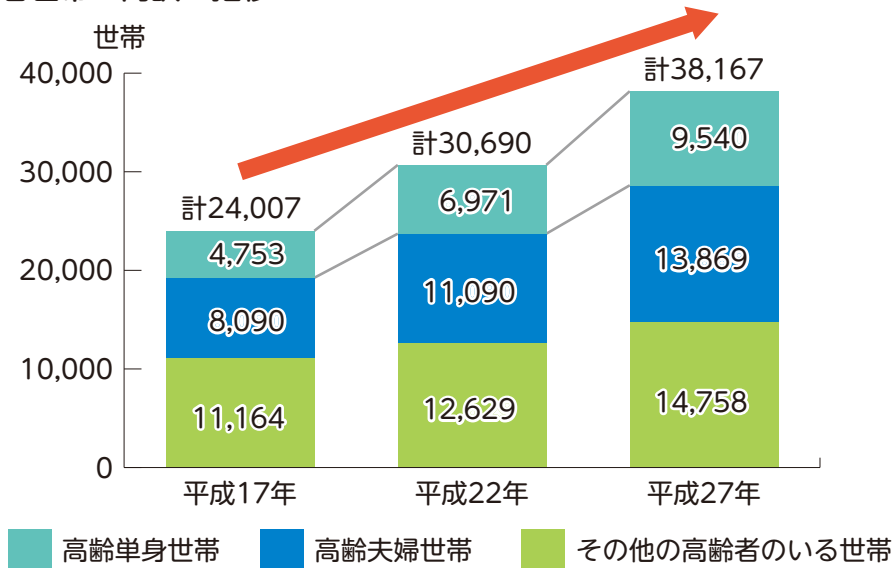
	15歳未満（全体）		0歳～5歳		6歳～14歳	
	総数	比率	総数	比率	総数	比率
青葉区	39,400	12.7%	14,283	4.6%	25,117	8.1%
横浜市	446,873	11.9%	170,297	4.5%	276,576	7.4%

出典：横浜市統計ポータルサイト

令和2年1月時点で、青葉区の年少人口（15歳未満）は市内18区中2位、年少人口比率は3位となっており、青葉区は横浜市内でも子どもの多い区です。

しかし、年少人口は、平成27年の約4万3千人から令和2年の約3万9千人へと減少しており、青葉区においても子どもが減少し始めていることがわかります。

●青葉区の高齢者世帯の内訳と推移

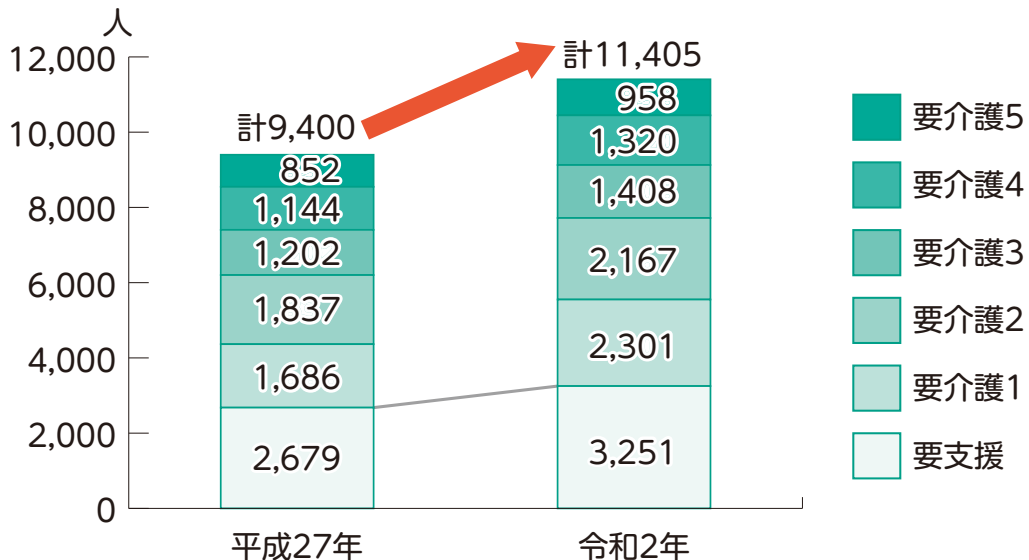


出典：平成27年度 国勢調査資料から作成

平成27年の国勢調査によると青葉区における高齢者世帯（65歳以上の高齢者のいる世帯）は約3万8千世帯で、青葉区の世帯数約12万世帯の約30%を占めています。また、高齢単身世帯でみると、平成17年の4,753世帯から平成27年には9,540世帯となっており、10年間で約2倍増加しています。

今後の高齢化に伴い、高齢単身世帯はますます増加することが予想されます。

●青葉区の介護保険認定者数推移【各年3月末時点】

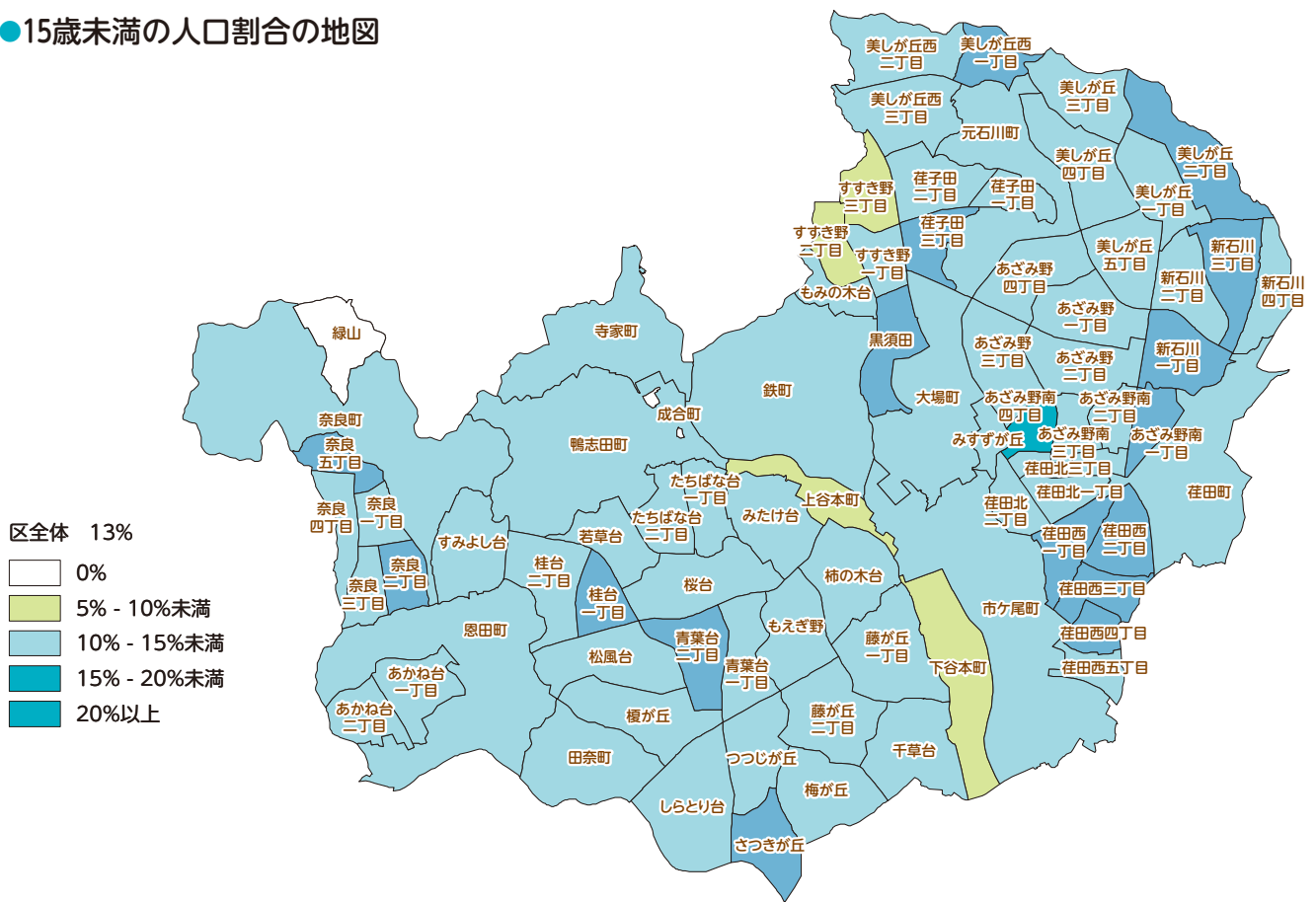


出典：横浜市統計ポータルサイト

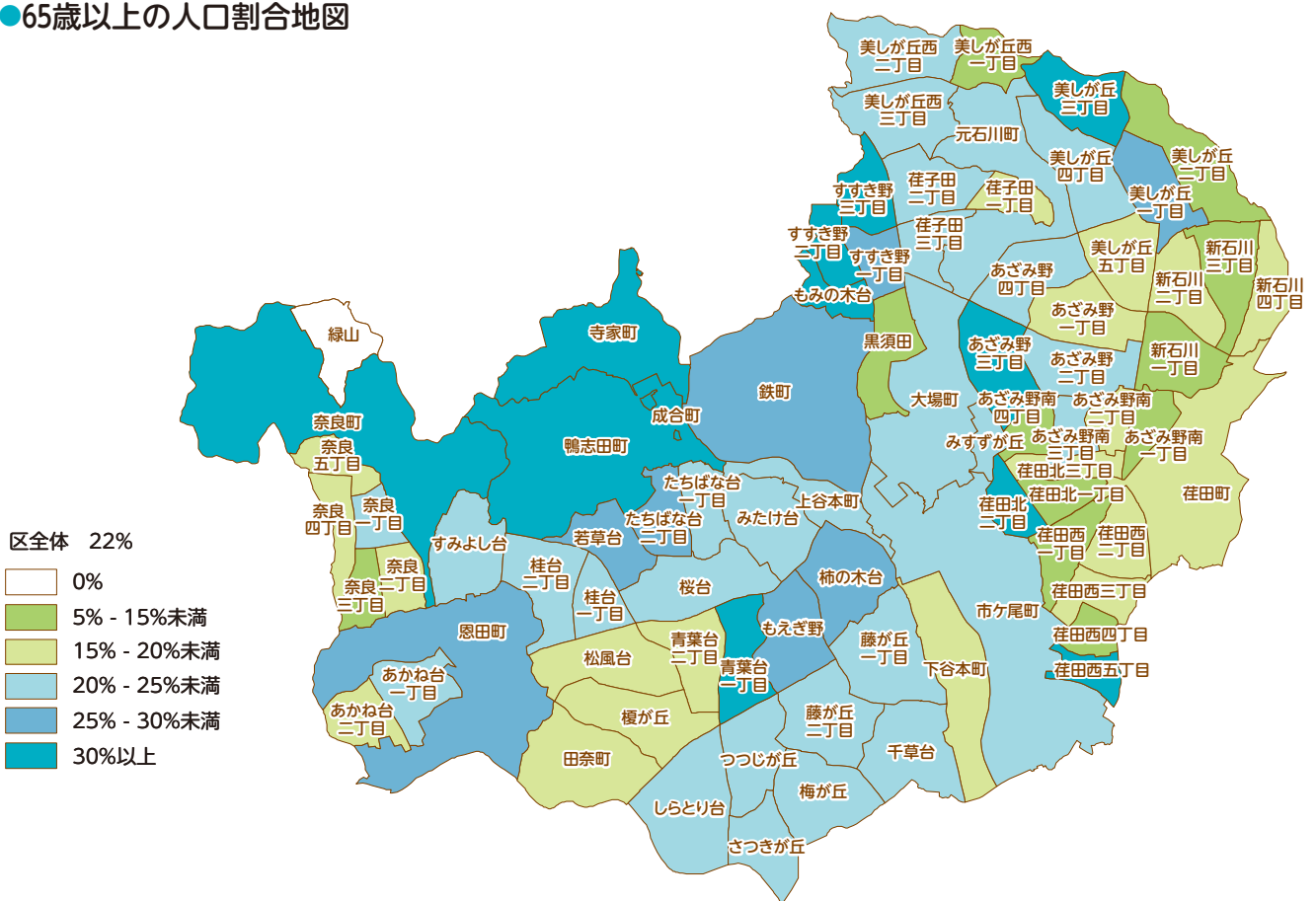
令和2年3月末時点で、青葉区において、何らかの疾病や心身の障害等により介護保険の要支援・要介護認定を受けている人は平成27年同月時点と比べて約2割増加し、11,405人となっています。

介護保険認定者数は増加傾向にあり、今後高齢者が増えることが予想される中で、少しでも長く健康に暮らせるよう、取り組んでいく必要があります。

●15歳未満の人口割合の地図

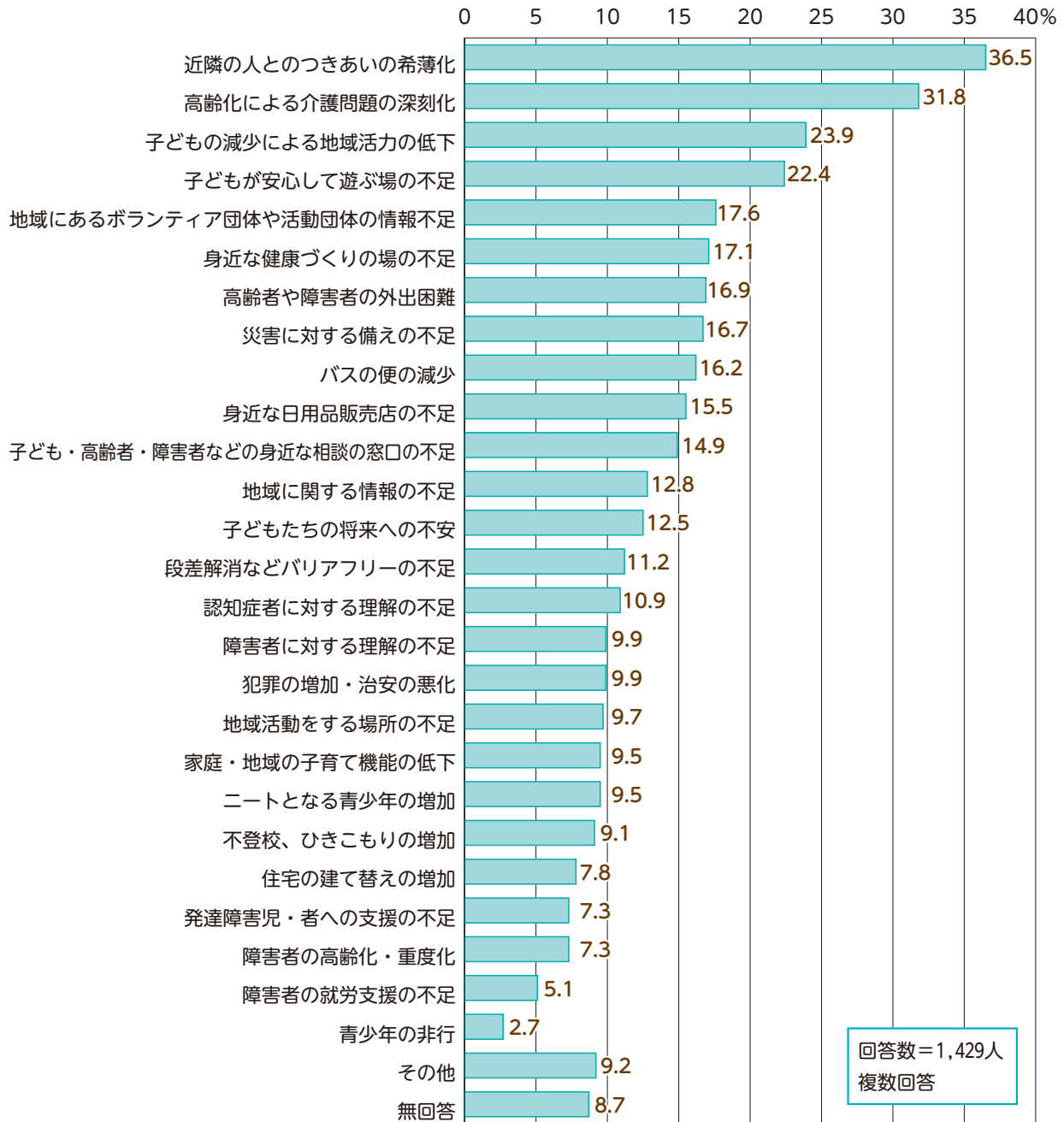


●65歳以上の人口割合地図



第2節 青葉区区民意識調査からみた青葉区

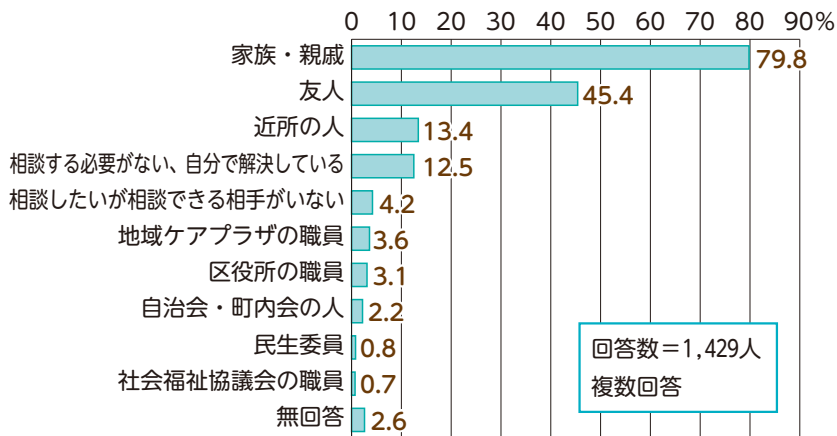
- 「あなたの住んでいる地域には、現在どのような課題や問題があると思いますか」



出典：令和元年度 青葉区区民意識調査

「近隣の人とのつきあいの希薄化」(36.5%)が最も多く、次いで「高齢化による介護問題の深刻化」(31.8%)、「子どもの減少による地域活力の低下」(23.9%)、「子どもが安心して遊ぶ場の不足」(22.4%)と続いています。

● 「日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか」

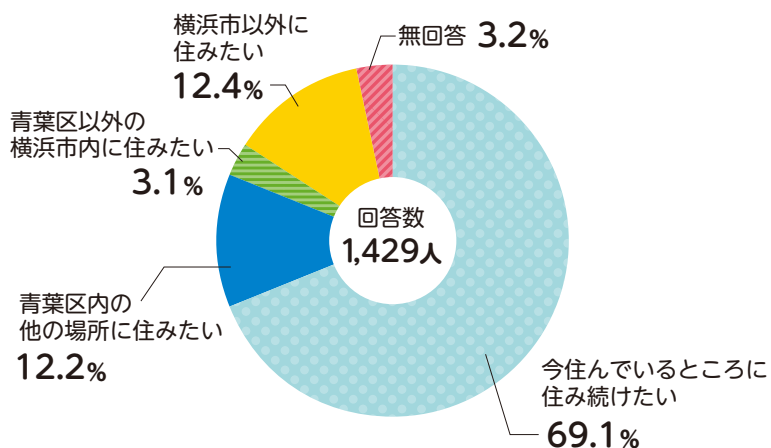


出典：令和元年度 青葉区区民意識調査

「家族・親戚」(79.8%)が8割と最も多く、次いで「友人」(45.4%)が半数近くを占めています。

以下、「近所の人」(13.4%)、「相談する必要がある、自分で解決している」(12.5%)、「相談したいが相談できる相手がいない」(4.2%)と続いています。

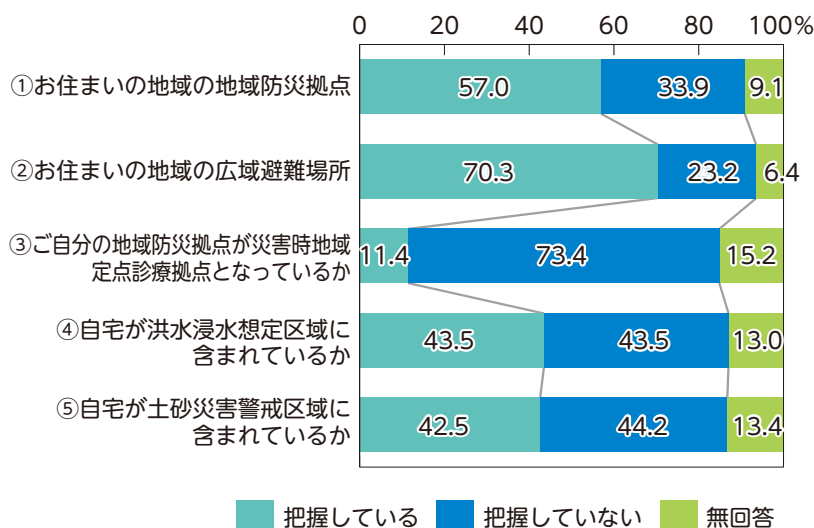
● 「あなたは、今住んでいるところに住み続けたいと思いますか」



出典：令和元年度 青葉区区民意識調査

「今住んでいるところに住み続けたい」(69.1%)が約7割と最も多く、「青葉区内の他の場所に住みたい」(12.2%)と合わせると、青葉区内に住み続けたい人が8割を超えています。

● 「地震・風水害等の災害が起こった時のために、次の項目について把握していますか」

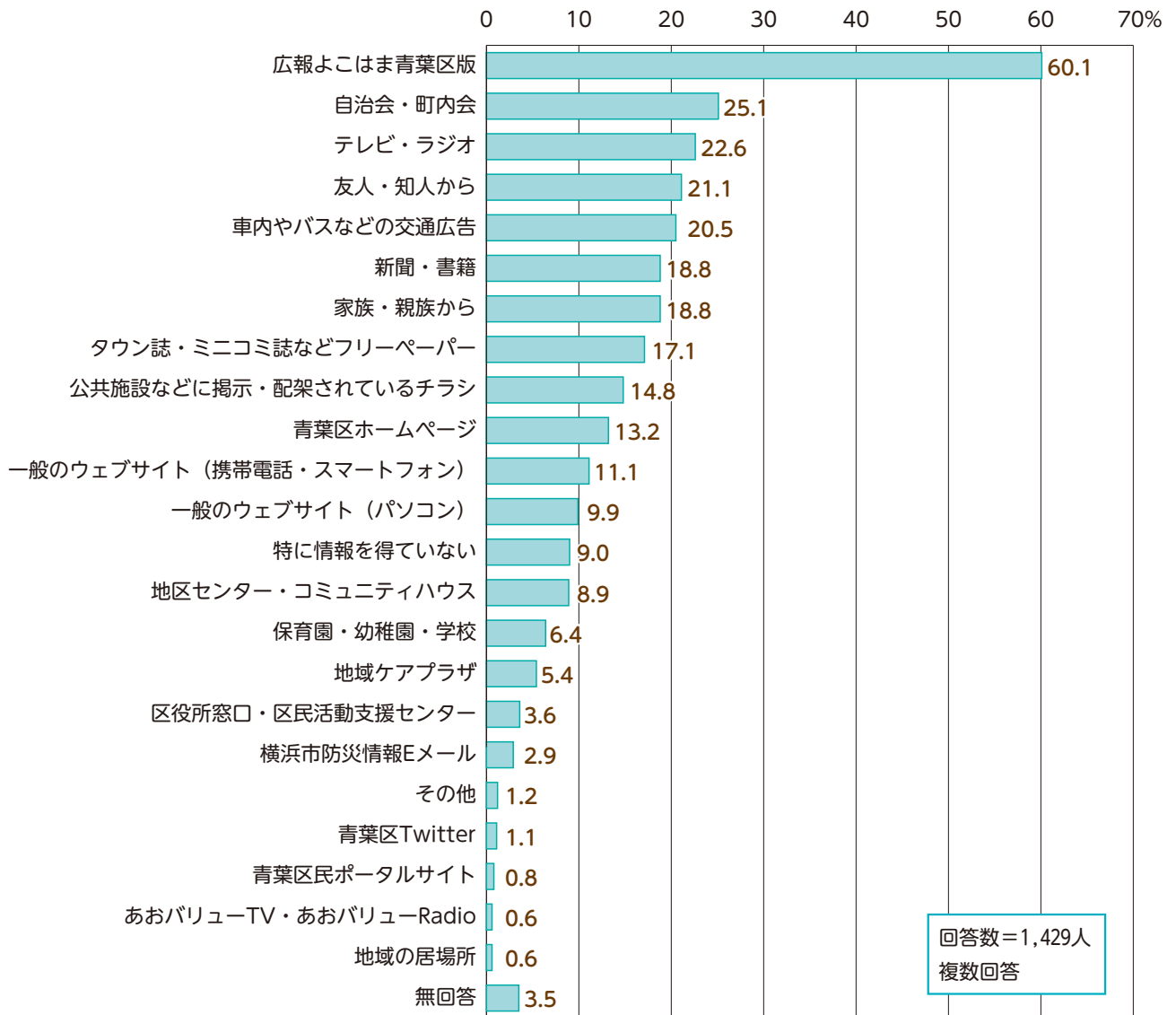


出典：令和元年度 青葉区区民意識調査

地域防災拠点について「把握している」は57.0%、「把握していない」が33.9%となっています。

広域避難場所については「把握している」が70.3%、「把握していない」が23.2%となっています。

- 「あなたは、普段区内のさまざまな情報（区からのお知らせ、イベント、子育てに関する情報、災害の情報など）をどのように収集していますか」



出典：令和元年度 青葉区区民意識調査

「広報よこはま青葉区版」（60.1%）が最も多く6割を占めています。次いで「自治会・町内会」（25.1%）、「テレビ・ラジオ」（22.6%）、「友人・知人」（21.1%）、「車内やバスなどの交通広告」（20.5%）と続いています。

